

この事業は兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会助成を受けています

第30回武庫川エコハイク

090912 エコグループ・武庫川

西宮街道と中山道(なかやまみち)

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

門戸厄神駅 大正 10(1921)年、阪急西宝線(西宮北口—宝塚間)が開通、門戸厄神門前町に駅が設置された。阪急神戸線(大阪—神戸)開通は前年の大正 9 年。

旧西国街道 門戸厄神駅の北側を通る道が旧西国街道。京から昆陽寺を経て西宮にいたる重要街道だった。

やくしんさん道 門戸厄神への参詣道。西宮街道でもある。

西宮街道(馬道) 小浜宿から西宮へ出る街道。西宮の酒蔵へ丹波から酒米を馬で運んだという(馬道)。丹波杜氏もこの道を通った。

岡田山 尼崎藩主桜井氏の別邸があったが、昭和 5(1930)年神戸女学院が神戸から移転してきた。敷地内に延喜式内社岡田神社がある。小松の岡太神社は後世の社といわれる。神戸女学院の学舎はW. M. ヴォーリズの設計である。

門戸厄神 石清水八幡、高野山天野明神と並び日本三大厄神のひとつ。門戸とは甲山神呪寺の門前を意味したものとされている。1月 18、19 日の初縁日には大勢の参詣客がある。

甲山道 神呪寺への参詣道。腹切地蔵が祀られている。お腹が割れており、腹部の病気に効くといわれている。

瀬川美術館 大阪の廻船業、山林業の商家瀬川家 4 代故徳助氏が昭和 46(1971)年設立された美術館。日本・中国の絵画を中心とした古美術品を収蔵している。

山之井顕彰碑 段上、大市地区の用水を仁川溪谷の中にトンネルを掘り取水した庄屋松山五郎右衛門の功績を称えて段上墓地の一角に建立された。

仁川 西宮夷神に山幸を奉ずるに贄部(にえぶ)が住んでいたことから贄川(にえかわ)が訛ったものか、天井川で大雨の時にしか流れないにじみ川からとか言われている。六甲山頂近く石の宝殿の南側に源流を持ち、甲山の北側を通り、仁川溪谷を抜けて流れる。暴れ川仁川の河川改修が完成したのは大正 10(1921)年。

弁天池と小仁川 鹿塩の大池。小仁川は今弁天池に注ぐが、昭和 10(1935)年洪水により阪急鉄橋が倒壊したことから、小仁川を弁天池に導水して流下させるようになった。このとき今の競馬場付近は土砂で埋まったという。今、小仁川の堤防から北を望むと理解できる。

宝塚ゴルフ場を源流とする小仁川が注ぐ。

熊野神社 昔奈良春日大社から使いとして雄雌二頭の鹿が熊野神社に遣わされて来たが、ある年雌鹿がいなくなり、雄鹿が捜し求めたが見つからず、ある時近くの井戸をのぞくと井戸の底に写った自分の姿を雌鹿と思い飛び込み亡くなってしまった。村人はこの鹿の屍を塩で包み春日大社に送り届けた。これからこの地を鹿塩と呼ぶようになった(伝承)。

金龍寺 聖徳太子建立七寺の一つ。寺宝が竜骨。裏山(今の仁川台)は地蔵山と呼ばれた。鹿の伝説の井戸がある。牡丹の花が有名(5月)。六柱の鐘堂。建物は堺から移築された。

良元村道路元標 大正年間に当時の各村に設置され良元村のものである。

宝塚神社 もと山王権現で、素盞鳴神社を合祀し昭和 40(1965)年宝塚神社となる。祭神は大山昨命と素盞鳴命。素盞鳴神社は現在の宝塚保健所の場所にあった。

平林寺 淳和天皇の皇后が僧籍に入られた如一禅尼が草創された。本尊は弘法大師手造りの三宝荒神を祀る。かつては一山三十有余坊を数えた。

小林千軒 平林寺の門前町として栄えた。小林の名は朝廷に学問をもって仕えた林史(ふひと)が住んだといわれ「御林」かたきたといわれる。

伊子志の渡し跡 18 世紀末の江戸時代に渡しがあったという記録がある。大正 8(1919)年洪水で渡船が流されるまで運行されていた。渡しの諸掛は中山寺が負担していたという。また昭和 8(1933)年宝塚新橋(現在の宝塚大橋)が完成するまでは明治 35(1902)年ごろ架けられた宝来橋まで迂回が必要だった。

首地蔵 西宮街道の小浜への坂の途中にある。高台に首だけの地蔵が 2 体祀られている。首から上の病気に効くといわれた。昭和 50 年の火災で焼け欠けたので新しい首地蔵を建立したので新旧 2 体が並ぶ。

古い道標 右は西宮道、左はの道貞享 4(1687)年の銘がある。

小浜宿南門跡 宿場出入口 3 箇所の一つ。火伏せの神、愛宕宮がある。

皇大神社 祭神は天照大神、天児屋根命で嘉吉元(1441)年創建と伝えられる。神社前に道標がある。

札場辻 小浜宿の中心に制札をあげた高札場があった。ここを札場辻と呼び、京伏見、有馬、西宮の各街道が合流した。

毫摂寺(ごうしょうじ) 小浜御坊。小浜宿はこの寺内町として栄え、宿場ともなった。

小浜宿資料館 市立資料館。入館無料。

小浜宿東門跡 宿場出入口 3 箇所の一つ。愛宕宮がある。

谷の上池 現在は埋め立てられて消防訓練場になっている。下池との間の道を京伏見街道と中山道が通り、昔は茶店(東の茶店)があったという。

中山寺 聖徳太子創建の寺で、仲哀天皇の先后大仲媛とその子忍熊王(おしくまおう)の慰霊のために建立されたという。西国三十三所観音巡礼の二十四番札所。また豊臣秀吉が子宝に恵まれず、中山寺の祈祷によって秀頼を授かったという。現在の本堂は秀頼が再建したものの。安産守護の寺院として著名。

白鳥塚古墳 中山寺境内にある古墳。7 世紀古墳後期のものといわれる。

伊子志の渡しの常夜燈 中山寺境内に移設されている。安政 4(1857)年の銘がある。

「語り部ノートにしのみや」、「宝塚大事典」ほか参照

コープともしびボランティア振興財団からの助成により作成